

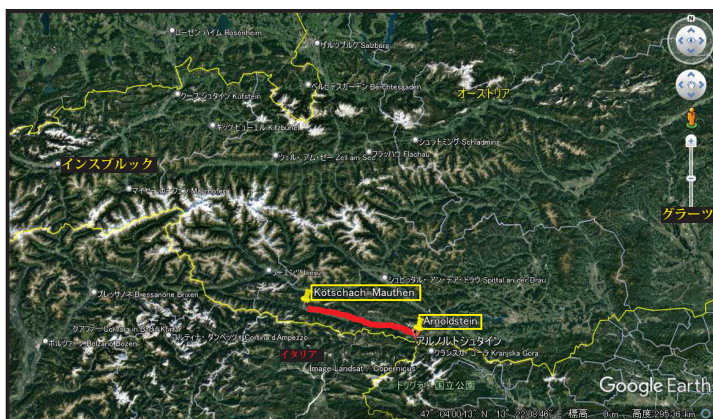
ガイル谷線

ガイル谷線は、アーノルドシュタインとヘルマゴルの間の
ÖBB の単一線路の電化鉄道路線であり、アルノルトシュタ
インのルドルフスバーンフィラッハ-イタリアから分岐し、
ヘルマゴルを経由してケットシャッハモーテンまでガイル
谷を通ります。61km、傾斜 17/00



1994 年 オーストリア発行
ガイル谷線 100 周年切手

1894 年 -----1994 年

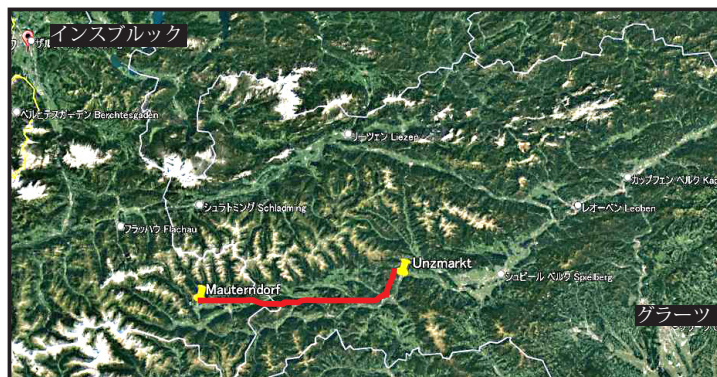


マーバレー鉄道

MurtalBahn は、オーストリアのシュタイアーマルク州の Unzmarkt 海拔 733 m から Murau と Tamsweg を経由してザルツブルグ州の Mauterndorf 海拔 1116 m まで走る、760 ミリメートル（ボスニアゲージ）の狭軌鉄道です。このルート 76.1 km は、マリアツェル線に次ぐオーストリアで 2 番目に長い狭軌鉄道です。



1994 年 オーストリア発行
マーバレー鉄道 100 周年切手
1894 年 -----1994 年



ザルツブルグ州紋章



シュタイアーマルク州紋章



2014 年 オーストリア発行
マーバレー鉄道 120 周年切手
1894 年 -----2014 年





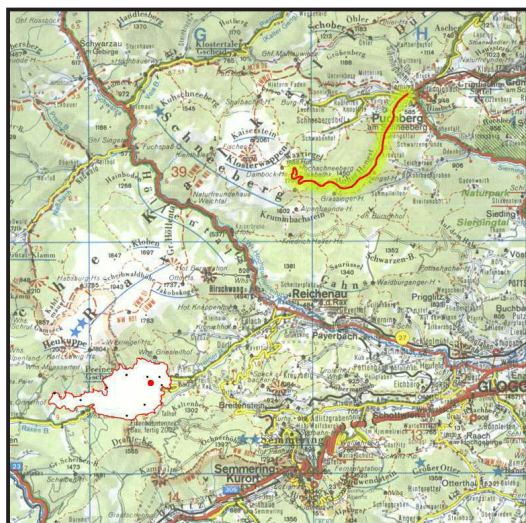
シュネーベルク線 ラック式区間

1897 年開業。現在ニーダーエスターライヒ州のシュネーベルク 577m から高雪山の終点 1796m 間 9.8km を運行。ゲージ 1 メートル、最大傾斜：196 ‰ オーストリアで最長のラック式鉄道。シュネーベルク山は、ニーダーエスターライヒ州のラックスシュネーベルクグループにあり海拔 2076m にあります。ニーダーエスターライヒ州で最も高い山である。



1997 年 オーストリア発行
シュネーベルク線 100 周年切手

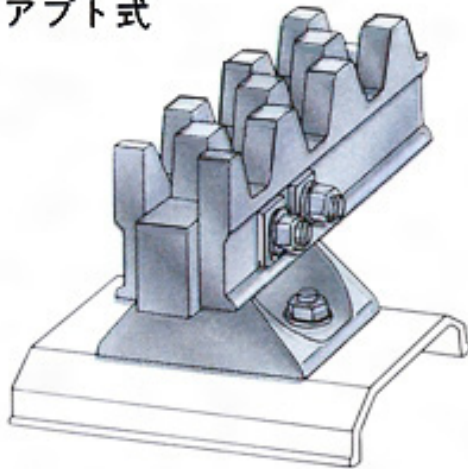
1897 年 ----- 1997 年



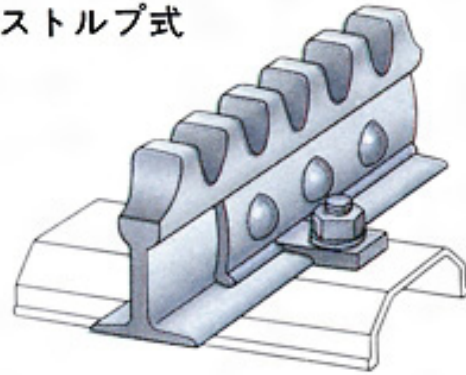
[https://de-m-wikipedia-org.translate.goog/wiki/Schneesbergbahn_\(Zahnradbahn\)?_x_tr_sl=de&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=sc](https://de-m-wikipedia-org.translate.goog/wiki/Schneesbergbahn_(Zahnradbahn)?_x_tr_sl=de&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=sc)

参考 Zahnradbahn ラック式鉄道

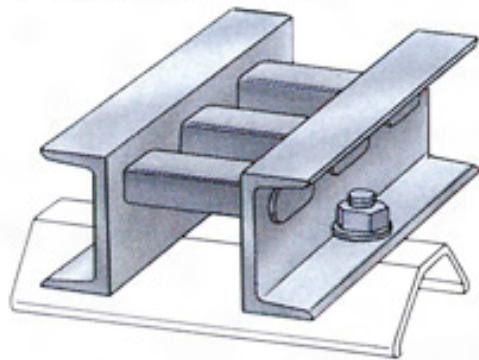
アプト式



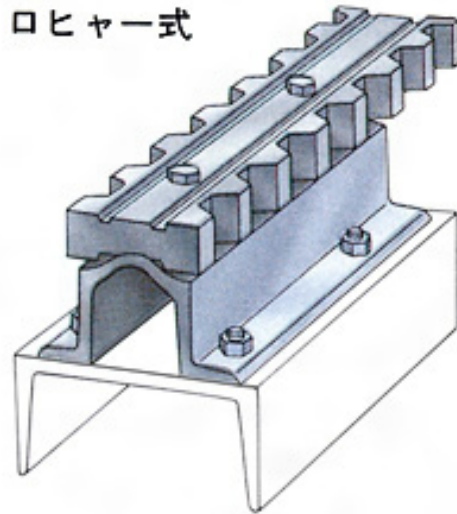
ストルプ式



リッゲンバッハ式



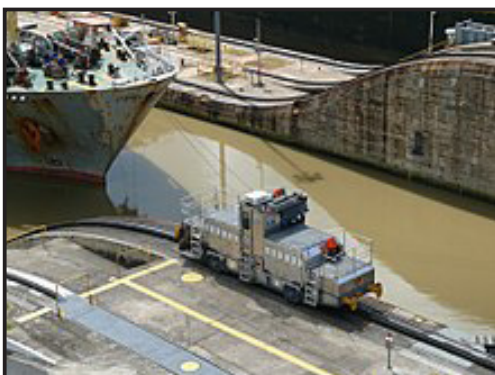
ロヒャー式



ラックアンドピニオンブレーキ付き
ウォーターバラスト鉄道



混合運転：ラックセクションの
フルカ - オーバーアルプ - バーン列車



曳航機関車、パナマ運河



純粋な歯車式鉄道：2 台のトレーラーカー
を備えたシーニゲブラッテ鉄道列車

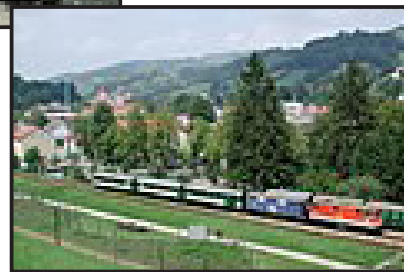
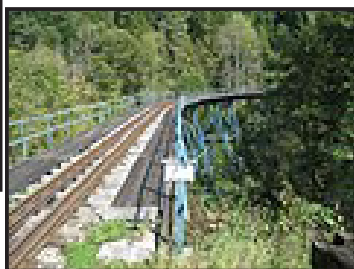
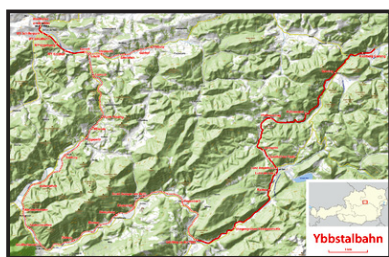
https://de-m-wikipedia-org.translate.goog/wiki/Zahnradbahn?_x_tr_sl=de&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=sc

イップス地方鉄道

イプス谷線は、ニーダーエスターライヒ州の モストフィアテルにある 760 mm（ボスニア軌間）の狭軌鉄道で総延長 75km、最大傾斜 19 %の路線であった。海拔 360 m、694m の高低差を運行。2010 年 QBB が営業から撤退。3km 区間と 30km 区間に分断され運行され、途中約 40km は廃線となった。



1998 年 オーストリア発行
イップス地方鉄道開業 100 周年切手
1898-----1998 年



https://de-m-wikipedia-org.translate.google/wiki/Ybbstalbahn?_x_tr_sl=de&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=sc

ペストリングベルクバーン (Pöstlingbergbahn)

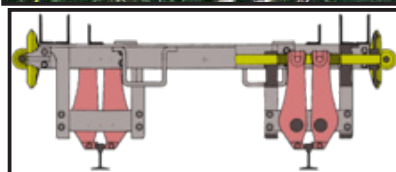
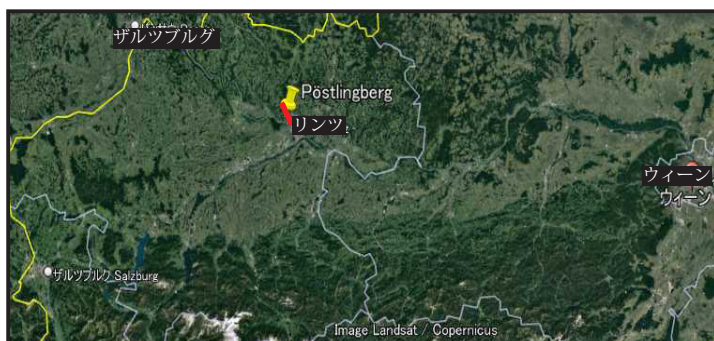
リンツにある長さ 2880 メートルの狭軌登山 鉄道で、ウーアファール地区とペストリングベルクを結んでいます。

標高差 海拔 263m から 519mm

鉄道車両 XV は、2008 年に近代化される前に、山岳駅に到着します。1897 年にメーターゲージで建設された登山鉄道は、2008 年から 2009 年の間に 900 ミリメートルに再設計され、リンツの路面電車ネットワークに接続されました。世界で最も急勾配の粘着鉄道の 1 つです。キャリパーブレーキを使用することが決定されました。これは、ペンチのようにレールをつかむブレーキシューで構成されています。



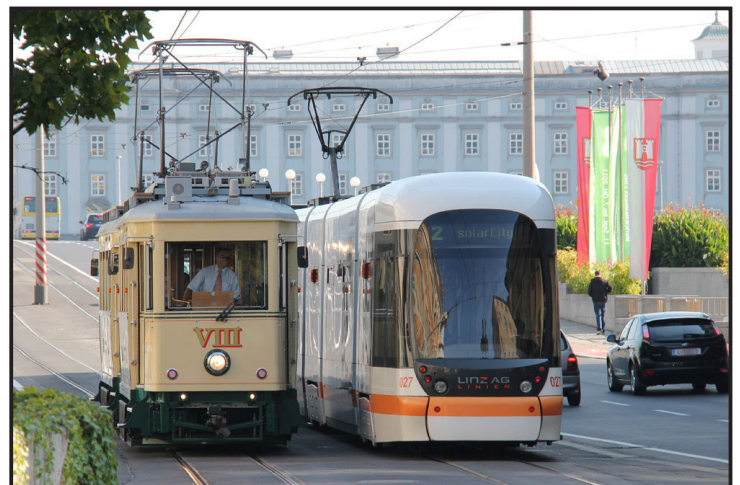
1998 年 オーストリア発行
ペストリングベルクバーン 開業 100 周年切手
1898-----1998 年



キャリパーブレーキの図



キャリパーブレーキの構造



https://www.google.co.jp/search?q=p%C3%B6stlingbergbahn&source=hp&ei=4tqOYqLf0vi02roPr5u30Ag&ifsig=AjiK0e8AAAAAYo7o8pleU2WrMMwSm8j_YMWsKzMNUxMq&oeq=P%C3%B6stlingbergbahn&gs_lcp=Cgdnnd3Mtd216EAEYADIECAAQZIECAAQZIECAAQZIECAAQZIECAAQZIECAAQZIECAAQHhATMgYIABAEbM6BggAEB4QBzoECAAQHIAAWOhoYM5-aABWAhgAgAGaYgB2AKSAQMxLjKYAQCGAQKGAQE&scitlent=gws-wiz

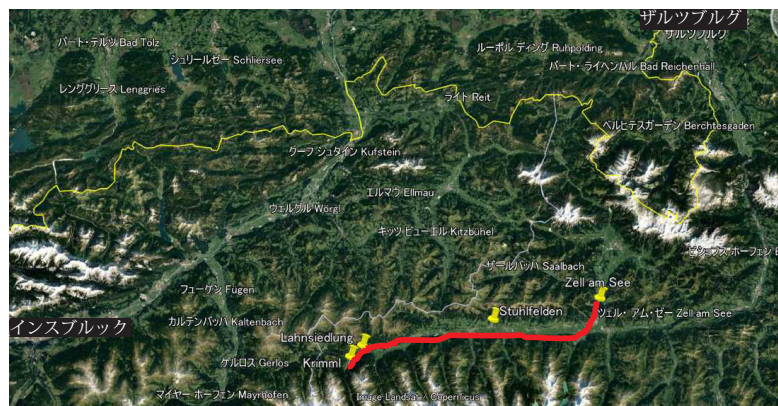
ピンツガウ地方線

PinzgauerLokalbahn は、オーストリアのザルツブルク州にある 760 ミリメートル（ボスニア軌）の狭軌鉄道です。2008 年旧 ÖBB ルートは、SLBPinzgauerLokalbahn という名前でザルツブルク AG によって運営されています。ツェルアムゼーと Vorderkrimml の間のザルツァッハ溪谷を約 53 キロメートルの長さで走っています。ザルツブルクピンツガウの高山地帯を通過してミッタージールとヴァルトの間の区間は、洪水による深刻な被害のために 2005 年から通行不能になり、2 段階で再建されました。ルート全体は、ザルツブルク州に引き継がれてから 2 年後の 2010 年 9 月 11 日に再開されました。

52.6km 海拔 752m から 911m 最大傾斜 27 %



1998 年 オーストリア発行
ピンツガウ地方線 100 周年切手
1898-----1998 年



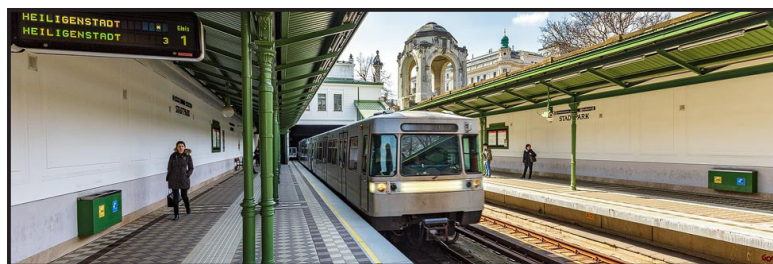
https://www.google.co.jp/search?q=pinzgau+bahn&source=hp&ei=JC-PYrzaLI6joAS3w6wl&iflslig=A-JiK0e8AAAAAyo89NDNRjTApEjyt1hj_0sHe8NamZ5b&oq=pinzgau+bahn&gs_lcp=Cgnd3Mtd2l6EAEYADIGCAAOQChATmgYIABeEBMyCAGAEb4QChATmgYIABeEBMyBggAEb4QEzJGCAAHhATmgYIABeEBMyBggAEb4QEzNCNAaAQgAQQsQMqgwEQBDoLCAAQgAQQsQMqgwE6BwgAEIAEEAQ6CAgAEIAEELEDOgoIAECABCCABxAeAEOgYIABCAADoECAAQHjoECAAQDToGCAAQHhANUABYJi1BGgBcAB4AIABaogBswsAQMSLjYAOCqAOE&scd=s-gws-wiz

ウィーンシュタットバーン

1898年にオーストリアの首都ウィーンとその周辺に開設された公共交通機関でした。もともと、高速輸送鉄道は、帝国鉄道と王立鉄道が蒸気機関車で運営する標準ゲージの鉄道であり、主要鉄道に分類され、乗客輸送に加えて、郵便、荷物、商品の輸送にも使用されていました。その37.918キロメートルのより狭いネットワークは、6つの個別の路線、すなわち、アッパーウィーンバレーライン、ローワーウィーンバレーライン、ドナウ運河ライン、ベルトライン、コネクティングアーク、および郊外ラインで構成されていました。1925年に、市営のウィーン電気シュタットバーンがこのネットワークの大部分を引き継ぎ、1976年から1989年の間にウィーンUバーンに統合されました。国鉄には郊外線のみが残っており、1987年からウィーンSバーンの一部となっています。



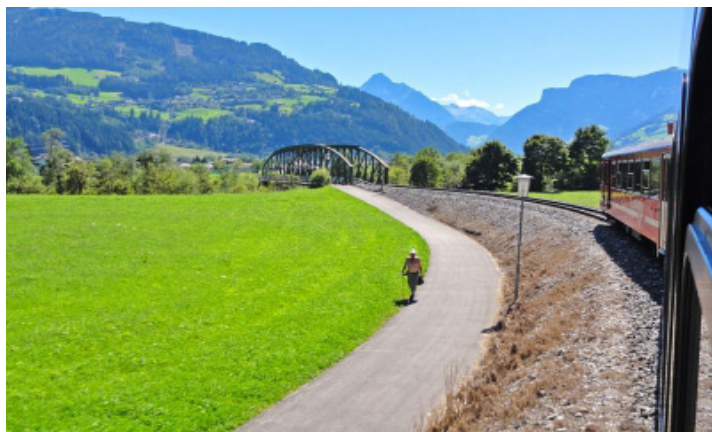
2008年 オーストリア発行
ウィーンシュタットバーン 100 周年切手
1898-----2008 年



https://de-m-wikipedia-org.translate.goog/wiki/Wiener_Stadtbahn?_x_tr_sl=de&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=sc

ツィラータール鉄道

鉄道開業以前のツィラー渓谷（ツィラータール）は道路状態が非常に悪く、観光産業の拠点であるマイヤーホーフェンへ向かうためには途中のツェル・アム・ツィラー（ドイツ語版）で一泊する必要があるほど交通の便に支障をきたしていた。その状況を打破するため 1868 年に以降ツィラー渓谷へ向かう鉄道を作る動きが起き建設費用の削減などを目的として線路幅はボスニアンゲージとも呼ばれる 760mm の狭軌を採用し開業。1902 年に用意された車両は蒸気機関車 2 両、客車 10 両、荷物車 2 両、貨車 20 両であった。1928 年以降はトウクスにあったマグネシウム鉱山からの鉱石輸送を開始し、1976 年に鉱山が閉鎖するまで続いた。1964 年に沿線の道路建設に併せて鉄道を廃止するという動きが持ち上がったが、翌 1965 年にザルツブルクのタウエルン電力会社（ドイツ語版）が沿線に水力発電所を建設することになり、その資材輸送をツィラータール鉄道が担当する事となった。新型機関車の導入や標準軌から貨車を直通させるためのロールシェメルを導入、列車無線の採用など様々な施策を実行し、発電所完成までに 325,000t ものセメントを輸送した功績により、大量輸送機関としての鉄道の価値が見直され、ツィラータール鉄道の存続が決定した。81km 26 %



2008 年 オーストリア発行
ツィラータール鉄道 110 周年切手
1898-----2008 年



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%84%E3%82%A3%E3%83%A9%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%AB%E9%84%E9%81%93>

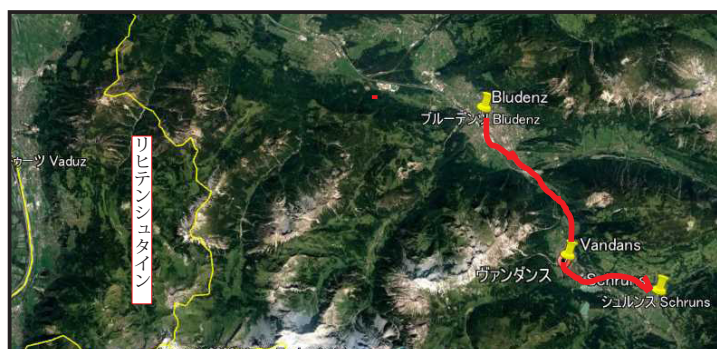
モンタフォン鉄道

Montafonerbahn AG（略して MBS ）は、オーストリアのフォアアールベルク州にある民間の 輸送会社です。そこでは、主にモンタフォンでブルーデント - シュルンス鉄道路線を運営しており、鉄道インフラ会社であり、唯一の鉄道輸送会社でもあります。Montafonerbahn は、オーストリアの標準軌支線 です。12.717 km の長さの支線は、1905 年 12 月 18 日以降、シュルンスとモンタフォン下流をブルーデントに接続しており、アールベルクバールとリンダウ - ブルーデント鉄道路線に接続されています。

12.87km 最大傾斜 25.25 ‰ 海拔 681m



2005 年 オーストリア発行
モンタフォン鉄道 100 周年切手
1905-----2005 年



<https://de.wikipedia.org/wiki/Montafonerbahn>